

平成30年度行政評価 施策評価シート (平成29年度実績)

施策名 魅力づくり

施策コード 050202

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 活力をうみ、賑わいのあるまちづくり (活力・賑わい)	節 第2節 観光
	施策	魅力づくり	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣自治体と連携し、広域的な観光PRを図り、南泉州地域への誘客に努めます。 ・ パンフレットやインターネット、SNS等を通じて、観光情報を市内外に向けてリアルタイムに発信し、魅力づくりを推進します。 ・ 観光情報発信及びアンテナショップとしての拠点である各まち処でのおもてなしに努めます。 ・ 地域通貨システム (さのぼ) の運用による地域経済活性化に努めます。 	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関空対岸の自治体 (岸和田市以南の5市3町) 等で構成される「華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会」で広域的に観光のPR等を行うことで、当圏域への集客が期待されています。 ・ インターネット、広報誌、さらには主要観光施設との情報のネットワークを通じて、リアルタイムに市内外へ情報を提供し、集客の向上につなげています。 ・ 観光情報センターやまち処を活用し、主要観光施設との情報ネットワークを構築するとともに、多言語にて本市の観光資源等について情報提供に努める必要があります。 ・ 地域内消費を拡大させるための新たな取り組みが必要です。 	

施策目標	
対象 (誰を、何を、どこを)	
インバウンド、国内、ビジネス観光客	
意図 (どのような状態にしたいのか)	
関西、日本各地、海外からの多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。	

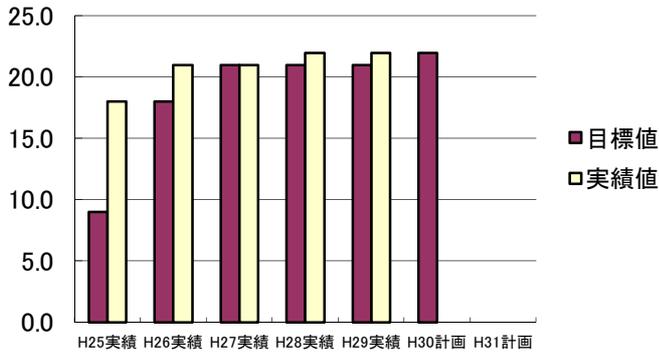
3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	35.2						
重要度 (偏差値)	41.4						

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H28決算	H29決算				
コストの内訳	人件費	千円	4,969	7,000				
	事業費		50,324	80,199				
	フルコスト		55,293	87,199				
財源内訳	国庫支出金	千円	25,161	27,070				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		0	53,128				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		30,132	7,001				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		25,163	1				

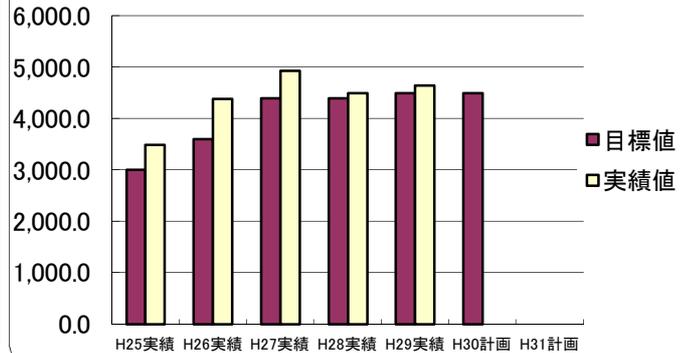
5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		情報発信のメニューの多様化					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	9.0	18.0	21.0	21.0	21.0	22.0	
実績値	18.0	21.0	21.0	22.0	22.0		
達成度	200.0	116.67	100.0	104.76	104.76		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
情報発信のメニューの数より、どれだけ人の目に市の情報発信に触れる機会が多いかがわかります。		近年、アジア圏内からの来訪者が増えつつあることから、多言語化に取り組むことも目標設定しています。また、この10年間で日進月歩である情報媒体を活用し、利用媒体数を増やすことにより、様々な人の目に触れる機会を創出する為目標を設定		ホームページ(日本語・英語・ハンゲル・簡体字・繁体字)、広報、イベント情報チラシ(春・夏・秋)、観光ガイドブック(日本語・ハンゲル文字)、5市3町パンフレット、泉佐野市観光プロモーションビデオ、街歩きMAP(英語・韓国語・簡体字・繁体字)、指差し会話集、泉佐野市宿泊施設ガイド、9市4町ガイドブック、観光名刺(種類の増)、泉佐野じゃらん・フェイスブック・泉佐野住み善し(PR動画)			
② 成果指標 2		観光情報センター年間利用者数					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	3,000.0	3,600.0	4,400.0	4,400.0	4,500.0	4,500.0	
実績値	3,493.0	4,386.0	4,926.0	4,501.0	4,642.0		
達成度	116.43	121.83	111.95	102.3	103.16		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
情報発信媒体が多様化する中、人のぬくもりを感じる観光案内を行なっています。事前に当市の情報を取得されていない方々が、手軽に目的を達成できる手段であるため。		来訪者を温かくお迎え・ご案内できる施設として、平成21年4月にオープン。きめ細やかなサービスを提供できるよう、10人/日を目標に設定しましたが、H26以降は過去の実績を踏まえ、目標値を設定。		利用者数には電話問い合わせ件数も含む。観光情報センターに関して一定の認知がされてきていると考えられる。			
③ 成果指標 3		観光交流プラザ「りんくう まち処」・観光情報プラザ「関空 まち処」・観光おもてなしプラザ「泉佐野 ま					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	40,139.0	61,000.0	116,000.0	135,000.0	150,000.0	180,000.0	
実績値	41,531.0	106,486.0	130,705.0	164,646.0	158,423.0		
達成度	103.47	174.57	112.68	121.96	105.62		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市の観光情報発信及び特産品の販売など観光案内所として観光交流プラザ「りんくう まち処」は平成24年12月に、観光情報プラザ「関空 まち処」は平成25年10月に、観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処」は平成29年3月にオープン。観光案内や特産品等の展示・販売などを通じ、国内外の旅行者へ情報発信を実施。		外国人旅行者をはじめとする国内外の来所者数を、りんくうまち処は60人/日、関空まち処は100人/日を目標に設定し、H27以降は過去の実績を踏まえて目標値を設定。H28以降は泉佐野まち処も合算。		今年度の利用者数はりんくうまち処は月平均約6.5千人、関空まち処は月平均約5.5千人で推移しており、一定の認知がされてきていると考えられる。			
④ 成果指標 4		観光交流プラザ「りんくう まち処」・観光情報プラザ「関空 まち処」・観光おもてなしプラザ「泉佐野 ま					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値		4,000,000.0	4,500,000.0	50,000,000.0	65,000,000.0	40,000,000.0	
実績値		4,227,460.0	49,919,020.0	67,178,317.0	36,958,880.0		
達成度		105.69	1,109.31	134.36	56.86		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
上記施設において特産品等の展示・販売や手荷物預かり等を行うことにより、本市を訪れる国内外の旅行者に対し、本市のPR等を実施。H28.3月から特産品相互取扱協定締結市町の特産品の展示・販売等も開始。		H32で8,500万円を最終目標としていましたが、H29に関空第2ターミナル国際線エリアが供用開始したのに伴い、関空まち処の場所が移転し、競合他社の観光案内所も近くにあり、周遊バス等の交通チケットの売上げが激減したため、H30目標値を4,000万円に下方修正しました。		両まち処の利用者数の増加に伴い、本市の特産品の販売をはじめ、手荷物預かり等の利用者等も増加傾向にある。(売上額内訳:りんくうまち処17,567,616円、関空まち処13,314,705円、泉佐野まち処6,076,559円)			

図表

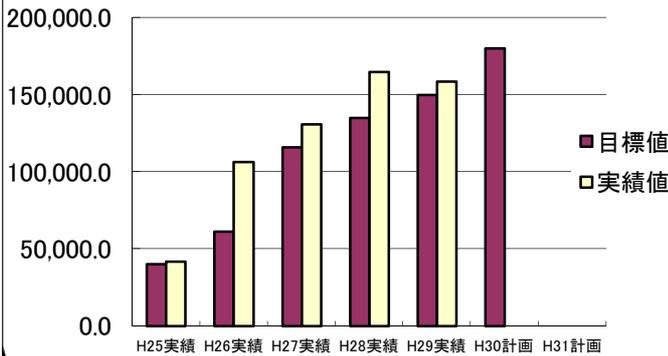
成果指標①



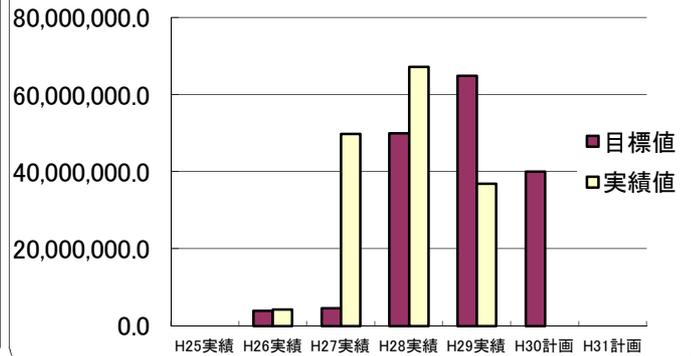
成果指標②



成果指標③



成果指標④



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	多言語対応の観光情報案内所を3箇所整備し、インバウンドをはじめとする情報発信を積極的に推進し、多様な利用者ニーズに対応している。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	インバウンド対策等については、地域事業者の関心事項でもありニーズも増えつつある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	多言語対応やWiFi整備、手荷物預かり等の対応はインバウンド観光を推進していく上では当たり前となっており、国等の補助金等を活用しながら積極的に推進していく必要がある。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	東京オリンピック開催を控えて今後益々増加するであろう訪日外国人旅行者が、今まで以上に当市に訪れやすい環境の整備を今後も図っていく必要があると考えられる。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	成果指標の見直しを検討すること。	
三次評価 (理事者による評価)	C	成果指標の見直しを検討すること。	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業		H29年度決算額			H30年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01037300	観光振興事業					B
2	01083273	関空立国ショーケース事業	7,000	80,199	1	0	B
合計			7,000	80,199	1	0	